

ひだまり

目次

散歩道	1
さくら千手園 夕涼み会	2
木の宮学園 木の宮日記	3
山 桜 立派！立派！スリッパ？	4
地域生活支援センター レインボー 地域生活支援センターレインボー	4
南部よもぎの園 スポーツ活動く散歩>	5
パルプの組み立て作業	5
佐倉市さくらんぼ園 活動紹介	6
さくら福寿苑 敬老会	7
喫茶「さくら」	7
秋のイベント	8・9
情報フラッシュ	10



〈やまびこ会主催行事〉

散歩道

さくら千手園には、やまびこ会という自治会があります。選挙で選ばれた役員の方々が中心となり、毎月発行される自治会誌『いっほいっほ』の作成、15時のお菓子配り、給食の献立に反映する希望メニューの調査などに取り組んでいます。中でも、年に一度開催される自治会の一大イベント『やまびこ会主催行事』は、企画から運営のすべてを考え、少しでも職員をサポートを受けながら利用者の方々が楽しいひと時を過ごせるよう奮闘します。今年9月30日が行事の日、昼食にデリバリーしたお寿司とピザを堪能し、腹ごしらえを済ませると、役員は法被に身を包み、屋台の店員に成り切ります。輪投げ・射的・くじ引き・ゲートボール・お菓子コーナーの店舗にスタンバイすると利用者の皆さんへ呼び込みをしながら、沢山の笑顔と元気を振りまいていました。これからも、皆さんの意見を吸い上げ、声が反響して広がる『やまびこ』のように利用者の皆さんの想いを響かせてくれる事と思います。



「お家に帰りたい。」「バス旅行に行きたい。」新型コロナウイルスが蔓延してから、毎日のように耳にします。少しでも利用者の楽しみを増やせるよう、事業計画には無かったイベント『夕涼み会』を実施しました。今回のコンセプトは、利用者に新しい体験をしてもらう事。ゲームアトラクションでは、水風船を投げる

指定障害者支援施設(生活介護・施設介護) 支援

さくら千手園

夕涼み会



『水風船の当て』、スリッパを飛ばす『スリッパカゴ入れ』等を行いました。食事では、あまり食べる機会のないカップ麺、食後にはノンアルコールビールやおつまみが提供されました。本番当日は天気にも恵まれ、利用者自治会やまびこ会会長の開会宣言と共にスタートしました。スイカ割りが始まると、久しぶりのイベントとい



う事もあって大盛況。その後のゲームアトラクションも、経験した事がないものばかりだった為、大盛り上がりでした。食事が始まると、カップ麺が大好評で、皆とても美味しそうに頬張っていました。食後はノンアルコールビールやおつまみを食べながらの職員アトラクション。今流行りのアニメ番組の挿入歌『紅蓮華』の音楽に合わせて3人のダンサーのサイリウムが光ると、歓声と共に目を輝かせていました。ダンスが終わるとたくさんさんの「アンコール！」の声。今度はダンサーが5人に増え、『夜に駆ける』が始まります。サビに入る直前、今度はサイリウムよりも大きくて強力なメガ大閃光が光る



と、利用者、職員共に大歓声！迫力のあるダンスを終えて、最後に打ち上げ花火をして行事が終了しました。司会がインタビュアーをしている際、S・Sさんがマイクを手に取り「最高でした!! 楽しかったです!! また来年もやりたいです!!」その言葉を聞いて、行事担当職員一同、今まで企画から準備まで頑張った良かったと思える瞬間でした。

10月から緊急事態宣言解除となりましたが、またいつ発令されるかも分かりません。今後とも、少しでも利用者の楽しみや笑顔を増やせるようにしていきたいと思えます。

(土井)

指定生活介護事業所

木の宮学園

ミニイベント 夏まつり

ミニイベント「夏まつり」では、夏らしい3カ所のブースを回って楽しみました。

1ブース目は『夏のフォトスポット巡り』です。皆さん様々な柄の浴衣の前に「どの柄がいいかな」等悩みながら浴衣を選んでいました。浴衣を着て観光地へ出発です！出発は日本！本物の竹を使った竹林エリアを見て歓声が上がっていました。エジプトエリアでは段ボールで作った大迫力のスフィングスの前でパシャリ！ハワイエリアでは、ハワイの背景やヤシの木の前で「アロハ！」の掛け声でパシャリ！

2ブース目の『提灯作り』では、牛乳パックに画用紙を貼って提灯の形を作り、シールや自分の顔写真でデコレーションして完成です。

3ブース目の『花火』に参加するためには、金魚すくい、ヨーヨー釣りの2つのゲーム



をクリアすることが条件です。皆さん真剣な眼差しで挑戦し、「取れた！」と大きな声でアピール！ゲームをクリアするといよいよ花火です。まずは手持ち花火で楽しみます。最後に噴出花火です。シューシューと上がると「おー」「きれーい」と楽しそうな声が聞こえてきました。皆さんの楽しそうな表情や声聞き、職員も非常に楽しい一日でした。(西谷)

木の宮日記



第3回木の宮芸能発表会 ~ハロウィンパーティー~



作業班ごとに準備・練習を重ね、いざ本番へ！ばつちりと決めた衣装で発表に臨みます。今年はオリンピックの入場行進から鬼滅の刃まで様々な発表が出そろいました。振付間違えちゃった、次の歌詞忘れちゃった、もご愛嬌です。会場一体となって歌って踊って大盛り上がり！皆さんの堂々たる姿と最高の笑顔をたくさん見ることができた素敵な発表会でした！(市瀬)

指定共同生活援助事業所



立派！立派！スリッパ？

「遅れちゃうよ。早く行こうよ。」

「まだ始まる30分前ですよ。」

「んー、でも先に行ってるね！」

コロナ禍の自粛生活が続く中、久しぶりに大きな行事である夕涼み会が、さくら千手園と合同で開催されました。早々と到着した会場となるさくら千手園の中庭では、会場設営に大慌ての職員の姿。

「あれ、まだ始まってないね。」

「来るのが早過ぎますよ。」

楽しみを待つ時間は、いつも以上に長く感じてしまうものですが、

「あれは？どうしてスリッパ？」と、興味津々な様子。会場内があつという間に形になってくると、楽しみのイメージは完全に仕上がったようでした。オープニングセレモニーが終わると、真っ先に向かったのはあの気になるスリッパのあった、その名もスリッパ



カゴ入れゲームです。前の人
がチャレンジしている様子を、
並んでいる列の後ろから顔を覗
かせて偵察を開始。順番が近付
く毎に、腕を動かしながら入念
なシミュレーション。
そして、いよいよその時が…。
「やったー。入ったー！」
完璧に決めた勝利のガッツポ
ーズ。その後受け取ったお目
当ての景品。あの時のあの笑
顔、最高でした。
(金川)

指定相談支援事業所



地域生活支援センター レインボー

レインボーでは、障害に関
する相談支援業務の他、千葉
県の事業を受託して療育支援
も行っております。

レインボーでは開所当初か
ら「理学療法士」「言語聴覚士」
の資格を持つ嘱託職員を配置し
て子ども療育支援を行って
おります。療育支援は近年、発
達支援ともいわれており、四
肢の障害に対する支援だけで
なく「追視・注視」といった
目の使い方や集中が持続でき
るための支援も行います。低
年齢から取り組むことで成長
に合せて「困り感」が軽減
される事もあります。今後も
親御さんや関係機関と連携し
療育支援の一翼を担いたい
と思えます。
(須藤哲)



教育・心理士
上野 正裕

〔嘱託職員 上野先生より〕

学習の遅れが気になる小、
中学生の勉強支援を行って
います。つまり、いっている
は千差万別で、それを見極め
ることが私の仕事です。勉強
が嫌いな子供、LD(学習障害)
ではないかと推測される子供、
理解能力が他者より遅い子供
など、一人として同じではあ
りません。わからないことが
わかった時の感動を体現させ
ることを目的として支援して
います。初めてレインボーに
訪れる親子とは面接を行い、
話を聞いた上で以下の約束を
しています。①私は決して怒ら
ない。②秘密は守る。③わか
らない時は、「わからない」とい
う。わからないことは恥ずか
しいことではないことを理解
していただきます。子供たち
のペースで、学習を見守って
いますが、私の力不足で、必
ずしも成功しているとは言え
ないケースもあります。しか
し「わかった」と言って目を
輝かせる子供の感動ぶりに出
会うと、彼らの役に立ったか
など自己満足しています。

(上野)

指定就労継続支援B型事業所

南部よもぎの園

指定管理者社会福祉法人千手会

スポーツ活動(散歩)

今年度から「南部よもぎの園」でも、「散歩」をスポーツ活動の一環として、取り入れはじめました。月に1回、1時間ではありますが、ほぼ全員が参加して行っています。といっても、緊急事態宣言下の自粛などもあり、まだ6月18日と、7月21日の2回しか活動していませんが、ではその2回について紹介したいと思います。

活動の流れとしては、①動きやすい衣服に着替え、帽子や汗拭きタオル・水筒等を用意する。②虫よけをして準備運動を皆で元氣よく行う。③グループに分かれて思うままに歩く。④時間になったら園に戻り、手洗い消毒、汗を拭いて水分をしっかりと摂る。以上です。

散歩でしょ？ただ、歩くだけでしょ？と手軽なものと思えるのですが、そうでもありません。まず、人数が利用者・職員合わせて20数名前後になり、グループに分けての散歩でも、1グループが5〜6名になります。年齢は様々、皆それぞれで体力

が違って、歩行スピードも変わる。1時間とはいえずさほど遠くまでは歩けなかったり、列が間延びして縦長になったりします。歩きやすい歩道があれば、道幅が狭いところもあり、場所によっては山道のようなところもあります。

暑い時期の実施だったこともあり、皆の散歩への評判はいいとは言えませんが、汗をかきながら頑張って歩いたり、道すがらの景色を見ておしゃべりをしたり、少しは散歩の良さも出てきているかな？今後の「南部よもぎの園」の散歩に、ご期待。(佐藤)



バルブの組み立て作業

今年度より新規の受注作業として、株式会社大産工業さんのバルブの組み立てを始めました。バルブとはあまり聞き慣れない言葉だと思いますが、圧力器等の部品の一部でも小さく細かい作業です。『タイ・筒・ボディー・バネ』を2種類・弁・シート』と何種類もの部品を組み合わせます。その後、部品に大きさの違う3種類のリングをつけて完成です。この作業の中で繊細な作業はバネを入れる作業です。小さなバネをピンセットで摘み、バネを伸ばさないように1本ずつほぐしながら入れます。細かく繊細な作業ですが、回数を重ねるごとに上手く入れられるようになりました。新規の作業を頂くごとに、利用者の新しい発見が見られます。

その都度、注文部品が違うため、間違えないよう確認しながら作業に取り組んでいます。大産工業さんから、丁寧な仕事をされていると評価して頂き、今では10種類位の部品を頂けるようになりました。

これからも利用者・職員一丸となって頑張っていきたいと思っています。(桜井)



完成



部品

指定福祉型児童発達支援センター

佐倉市さくらんぼ園

指定管理者社会福祉法人千手会

▼ファミリーレクリエーション

8月7日にファミリーレクリエーションを開催しました。昨年のさくらんぼ祭り同様、コロナウイルス感染予防の観点から、密を避けるためにクラスごとに時間を区切って行いました。いつもとは雰囲気が違うさくらんぼ園でしたが、子ども達は登園してくると、目を輝かせて自分の好きな出店へと向かって行き、子ども達のわくわく感が職員にも伝わってきました。



出店はボウリング、ヨーヨー釣り、缶積み、ペットボトルシューター、お面作り、南部よもぎの園のブースでした。子ども達はラリーカードを首から下げ、やる気満々！好きな出店に行くとシールをもらい、張り切って取り組んでいました。ペットボトルシューターとは、ペットボトルで作ったトンネルの先に送風機をつけたもので、入り口からボールを入れるとゴールまで一気に通り抜けていきます。ボールを見る事や風を感じる事を楽しみました。



ヨーヨーの出店では、好きな色のヨーヨーを釣ろうと一生懸命に輪ゴムの輪っかを探して、フックをひっかけていました。何度も挑戦し、やっと釣れると、笑顔で「やった！」と言ってヨーヨーをついで遊んでいました。南部よもぎの園のブースでは、マスクやマスクケース、糸で編んだティッシュケース、コースター等の販売、くじ引き、缶バッジ作成を行いました。中でも缶バッジ作りは当日の写真が出にと多くの方にご購入いただきました。



を回り終えた後、気に入った出店に再度行き、繰り返し楽しむ姿が見られました。今年も暑い中、たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。(高橋)



地域密着型特別養護老人ホーム

さくら福寿苑

敬老会

9月20日に敬老会を行いました。コロナ禍ということもあって、ユニット合同で行うイベントが少なかつたのですが、ご長寿を皆でお祝いしたいという思いから合同での開催となりました。

ユニット1からは2名、ユニット2からは3名、特別賞として今年103歳をむかえられたご利用者を含め6名のご長寿のお祝いをしました。

ご利用者の移動が始まり皆様が始まりました。施設長のあいさつとお祝いの言葉があり、ご長寿祝いの方へのプレゼントの贈答を行いました。賞状と花束を受け取ったご利用者の表情はとても嬉しそうでした。中には感極まって涙を流している方もいて、とても印象的でした。その後は職員が紙芝居を行い、最後にはピアノの伴奏に合わせて5曲の童謡をみんなで歌って楽しい時間を



過ごすことができました。「どんぐりころころ」と「大きな栗の木の下で」職員の振り付けを真似して一生懸命取り組んでいただき、お身体をあまり動かせない人も動かせる範囲で参加していただけたことをうれしく思いました。
(渡邊洋)

喫茶さくら

9月29日(水)福寿苑の玄関ホールに一日限りの喫茶「さくら」がOPENしました。木製のパーテーションで作った入り口、レースのカーテン、手作りのメニューボード、テーブル上に飾られたお花。本物の喫茶店のようです。

中に入ると、喫茶店スタッフに扮した職員がテーブルに案内し、メニューを見せてくれます。「何がいいかな?」「何にしようかな?」数種類のドリンクとデザートから選ぶことも楽しそうです。

頼んだデザートが目の前に届くと「わあ、おいしそう!」子供に戻ったように目を輝かせます。早速一口召し上がると、「おいしい」と笑顔。ゆっくりゆっくりと召し上がられコーヒーを召し上がる姿も、背筋がピンと伸びて、普段とは違った一面を見ることができたようでした。

「おいしかったなあ」「また食べたいなあ」との声が多く聞かれました。かつて、喫茶店へ出かけたことを思い出していただけたのではないのでしょうか。外出ができないコロナ



禍の今、とても楽しい一日になったようです。
(眞崎)



11月4日はさくら千手園のフェスタ。中庭には午前中から音楽が流れ、良い香りを放つキッチンカーが並びます。今日のお昼は多古米を使った無添加カレー・一口餃子・ちびたい焼き・焙煎珈琲や自家製シロップのドリンクです。12時、一斉に好きな店舗へと並ぶと、気持ちの良い青空の下で頬張ります。店舗の優しいおじさんからのサービスにも、温かく優しい味にも感動。司会者からマイクを向けられると思わず、「最高！」

さくら千手園
フェスタ



の一言と共に笑顔が溢れました。さて、お腹が満足しても別腹は健在。チョコファウンテンに綿飴にアイス、どれも自分で作ったりトッピングをしたり。初めての綿飴作りは丸くならず苦戦、あちらこちらから笑い声が聞こえました。沢山の美味しい食べ物皆のお腹の中に消えていき、楽しい思い出は心の中にずっと残るでしょう。

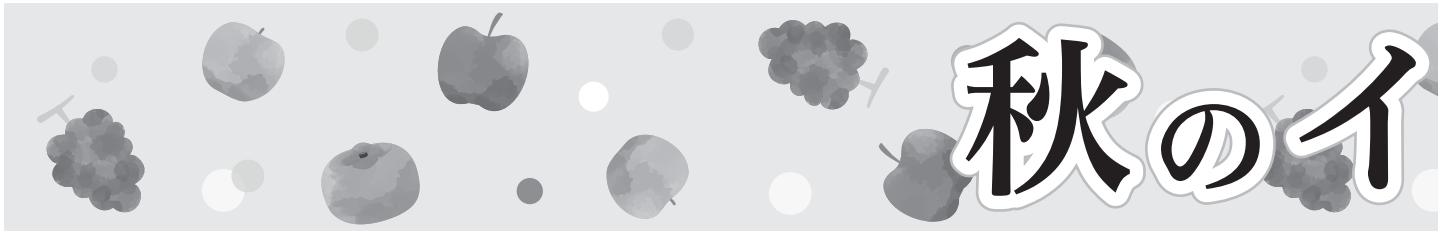
(三橋)

木の宮学園
ミニイベント
「秋の音楽クイズ」

11月、「秋の音楽クイズ」の火蓋が切って落とされました。クイズは歌詞の穴埋めです。グループごとにクイズとなっている歌が異なり、午後の発表に向けて歌詞の穴埋めと歌の練習を行います。隠された歌詞のピースを獲得するために、モルックなどミニゲームに挑戦。歌詞を見ながら、「この曲、私は知っているから任せて」等自信ありの方やとても悩んでいる方、様々なグループがあり皆楽しそうでした。

前半はこれくらいにして、そろそろ昼食へ。今回はキッチンカー「ピントブルー」。「オーガニックカンパニー」に来ていただきました！キッチンカーの前には長い行列が。「ビーフシチュー」お肉も野菜もたくさん！「ポルケッタ」お肉柔らかい！美味しい昼食を満喫しています。デザートのちびたい焼きとタピオカドリンクは別腹な様でペロリです。

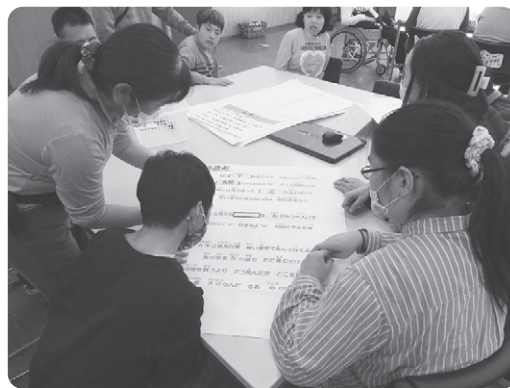
昼食後は、グループごとに歌詞の正解発表を兼ねて歌を披露しました。どのグループも一生懸命歌い、歌詞の穴埋めクイズも全グループ大



さくら福寿苑
キッチンカー

今年はコロナ禍の為フェスタが中止となりました。11月6日に「キッチンカー」を呼び事前に選んでもらった特別メニューを出しました。一番人気の「仔牛のプライムリブステーキ」を注文したご利用者は、「おいしい、柔らかい」と夢中でペロりと完食されていました。ポリユームがありました。ほとんどのご利用者は完食され満足されていました。おやつには数種類のデザートとメロンソーダが振る舞われました。メロンソーダを気に入り、自分からおかわりするご利用者もいました。今回の企画の感想を伺うと「たまにはこういう食事もいいね」「すごくポリユームあって美味しかったまたやって欲しい」と笑顔で答えられました。コロナ禍でなかなか外出できませんでした。楽しんでもらえてよかったです。

(角)



正解！最後はクイズの景品とお土産のたい焼きを持ち、キッチンカーの方々に元気に「ご馳走様」の感謝の挨拶をして本日はお開きとなりました。

(松田)

法人内職員研修

嚥下リハビリテーション

～障害児者の摂食嚥下障害～

いづつか歯科クリニック

院長 飯塚真司 先生

【対象…全職員】

《参加者コメント》

◇さくら千手園では、高齢化が進んでいることから、食事の際の嚥下面で指導を受けている方も少なくありません。普段の利用者の方々の食べ方（歯でのすり潰し、舌下の使い方）など、様子観察だけでなく、体の構造や反応など、支援をする上でご本人の理解を深める必要があることを勉強させて頂きました。

◇今回の研修では、往診時にあまり聞くことができていなかった口腔ケア以外のお話が聞けてとても参考になりました。食事の際にむせ込みがある方に対して食べやすい食事形態に変えていく事が、逆に美味しくないから食べなくなる、むせ込みやすい状態になる事があるなど、新しい気づきがありました。

障害とは…支援とは…

～主に知的障害編～

地域生活支援センターレインボー

主任相談支援専門員 須藤 哲

【対象…入職3年以下】

《参加者コメント》

◇支援をするためにはどうしたら良いのかという議題に、自分の支援方法はどうか？と考えさせられる部分がたくさんありました。一番印象に残った言葉は「自分が好意を持った人への関わり方を、利用者にも同様にすることが深く支援していく為の第一歩」という言葉です。その言葉を忘れずに日々の支援・療育に務めていきたいと思えます。

◇今回の研修で、千手会の一員としての自覚を強く感じました。利用者がいて支援者がいる事、もし自分が入所している利用者だったらと考え、利用者が快適に過ごし、自己を表現できるように支援に取り組みたいと考えました。その為には、一人ひとりの背景や障害特性などを深く知り、寄り添う体制が必要であると感じました。



～ご寄付に感謝いたします

*さくら千手園・山桜家族会様

*木の宮学園家族会 虹の会様

おめでとうございます

☆ご誕生

西谷 侑大（木の宮学園）

9月18日 栞和ちゃん

お世話になりました

☆武藤 博文（さくら福寿苑）

よろしくお願ひします

①趣味 ②特技 ③出身地

④マイブーム ⑤好きな有名人



さくら千手園 職員 高木 彩

①サッカー観戦、キャンプ ②どんな時でも眠れる事 ③福岡県 ④魚釣り ⑤ムロツヨシ



さくら千手園 生活支援員 小橋 友貴香

①FX ②ピアノを弾くこと ③愛知県 ④毎朝レモンを食べる ⑤村上春樹



さくら千手園 調理員 錦織 有希

①LIVEへ行く ②特になし ③千葉県 ④Youtube鑑賞 ⑤松下洗平



さくら千手園 調理員 鈴木 綾子

①小旅行 ②特になし ③千葉県 ④部屋の模様替え ⑤大泉洋、竹野内豊

編集後記

9月30日に緊急事態宣言が解除され10月1日からは日本全国で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置のない生活が始まりました。感染者数の減少がみられ、少しずつですが、イベントなどの規制緩和もしていく方針となつています。施設でも外出ができないご利用者の為に、少しでも外出気分が味わえるように職員が色々な案を出し行事を企画して楽しんで頂けるようにしています。

ただ、これから冬になると言われている第6波に備えつつ、昨季流行しなかったインフルエンザの予防にも努め、今後もマスク、手洗い、3密回避など基本的な感染予防を継続していく必要があります。早くマスク姿でない素顔で皆様と挨拶をしたいものです。

(前島)